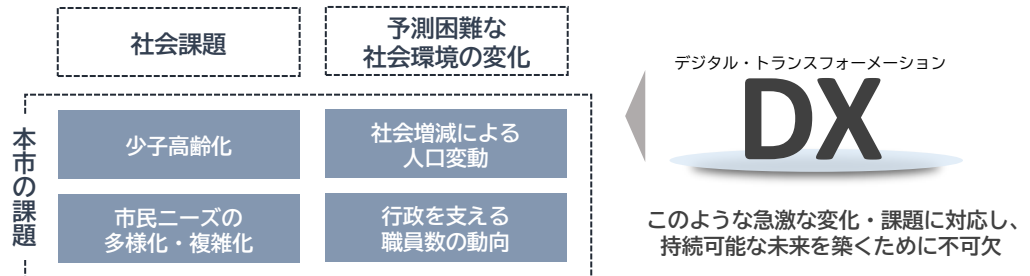


## #01 概要

### 策定の背景

私たちは今、人口減少や労働力不足といった深刻な社会課題、そしてAIの進化や気候変動など、予測困難な社会環境の変化に直面しており、行政の在り方そのものが問われる、大きな転換期を迎えています。



市民の利便性向上と持続可能な地域社会の実現のため、本計画を策定し、地域特性に応じた具体的なデジタル化の取組を積極的に推進していきます。

### 計画のコンセプト

前計画の取組成果を踏まえつつ、改めて本市の地域課題や行政課題を洗い出し、具体的な成果や実効性のある計画を目指しました。

### 計画期間

令和8年4月～令和13年3月（5か年）

## #02 計画の構成と位置付け

### 計画の構成

第5次新座市総合計画の将来都市像「未来もずっと暮らしに『プラス』が生まれる豊かなまち 新座」の実現に向けて、計画が果たすべき役割（ミッション）、二つの将来像（ビジョン）及び五つの“ぶらす”を実現するための行動規範（バリュー）を定めました。



デジタルのチカラで、∞-無限-のぶらすを

- 01 「いつでも、どこでも、誰でも」便利でぶらすを感じられるまち
- 02 職員が輝き、市民と未来にぶらすを届けられるまち

- “ぶらす”を実現するための行動規範
- 01 市民中心主義 ー共感力をぶらすー
  - 02 挑戦と迅速な実行 ー未来をぶらすー
  - 03 データに基づく意思決定 ー信頼をぶらすー
  - 04 セキュリティと責任 ー安全をぶらすー
  - 05 職員の働きがいと成長 ー輝きをぶらすー

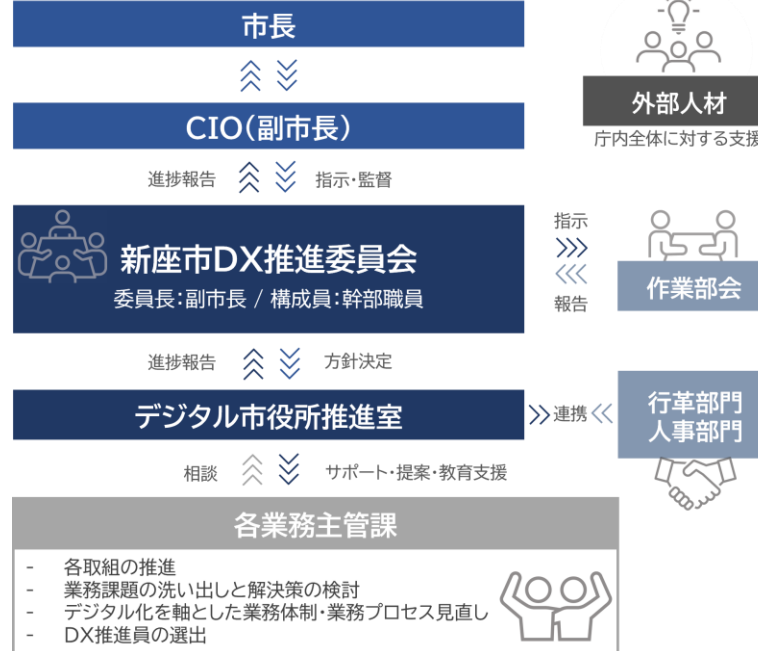
### 計画の位置付け

市の最上位計画である「第5次新座市総合計画」に基づき、総合的かつ計画的な行政運営を進めるための重要な個別計画として位置付けられています。

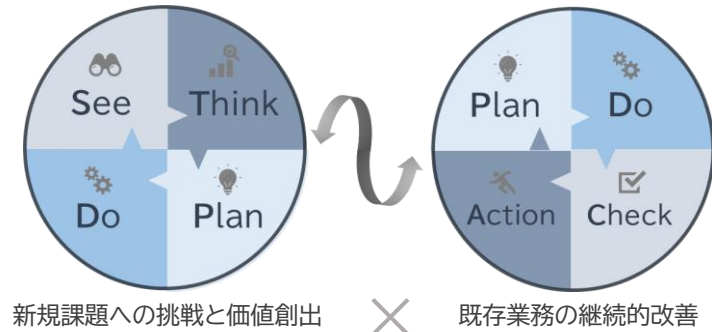
さらに、国や県の計画と整合性を図りながら、幅広い課題解決と地域全体の発展を支えていく方向性を明確にします。

## #03 計画の推進体制

### 推進体制



### マネジメントサイクル



### アクションプラン

- 各取組事業の位置付け
- 進捗状況や成果を把握

### 新座市DX推進委員会

- 評価
- 定期的な見直し

## #04 取組項目

(令和8年3月時点)

01 市民の暮らしDX	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体フロントヤード改革の推進</li> <li>公金収納におけるeL-QRの活用</li> <li>マイナンバーカード取得支援・利活用の推進</li> <li>行政手続等のオンライン化</li> <li>医療・福祉・子育てサービスのデジタル連携</li> <li>地域社会のデジタル化</li> </ul>	事業数 41
02 行政改革DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体情報システムの標準化</li> <li>「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」に基づく共通化等の推進</li> <li>セキュリティ対策の徹底</li> <li>自治体のAI利用推進</li> <li>BPRの推進</li> <li>EBPMの推進</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	事業数 20
03 人材躍動DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の取組</li> <li>デジタル人材育成・確保</li> <li>働き方を支える情報通信基盤の再構築</li> </ul>	事業数 4

各取組の詳細な事業やKPIは新座市DX推進計画 2.0 アクションプランにて定めます。